

市民生活実感調査（インターネットモニター調査）の結果について

1 調査概要

(1) 調査対象

20歳以上の市民（民間企業の登録モニター）976人

※ 令和6年4月1日時点の「京都市住民基本台帳人口」における人口構成比（性別・年齢・行政区）に基づき調査

※ 回答数は1,000人を予定していたが、一部の区分で有効回答数が割付数に達しなかったため、最終的な回答数は976人

※ 以下に当てはまる場合、不正モニターとして排除

①すべての設問が無回答（該当なし）

②すべての設問で同一のアルファベットを選択（10件）

（参考）回答数及び「京都市住民基本台帳人口」の住民構成比に基づく割付数

	男性			女性		
	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)
20歳代	60	68	▲8	70	70	±0
30歳代	64	64	±0	64	64	±0
40歳代	74	74	±0	80	80	±0
50歳代	84	84	±0	92	92	±0
60歳代	62	62	±0	72	72	±0
70歳代以上	110	110	±0	144	160	▲16
合 計	454	462	▲8	522	538	▲16

※ 割付数は、行政区ごとに、性別・年齢層別の人口構成比に基づき算出しているため、市全体の人口構成比と割付数との間では若干の乖離が生じている。

(2) 調査内容（従来の郵送調査と同じ）

ア 生活実感

「京プラン2025」に掲げた「みんなでめざす2025年の姿」に対して、今の市民生活がどうなっているかをお尋ねするため、118の設問について市民の実感を5段階で回答。 ※設問数が多いため、2組（調査A・B）に分けて実施

a：そう思う b：ややそう思う c：どちらとも言えない

d：あまりそう思わない e：そう思わない

イ 政策の重要度

27政策のそれぞれについて、市民が考える重要度を5段階で回答

ウ 市政への関心度

市政への関心度合いを5段階で回答

エ 幸福実感

幸福の実感度合いを5段階で回答

(3) 調査期間

令和6年5月2日～5月20日（19日間）

(4) 調査方法



(5) 調査委託会社

(株)クロスマーケティング

2 生活実感

b評価（ややそう思う）が増加し、c評価（どちらとも言えない）及びd評価（あまりそう思わない）が減少した。

各選択肢の回答率は、肯定的な回答が増加し、否定的な回答が減少した。

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまり そう思わない	e そう思わない	計
0	26	89	3	0	118

(参考1) 令和5年度調査結果

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまり そう思わない	e そう思わない	計
0	22	92	4	0	118

(参考2) 各選択肢の回答率

選択肢	R 6	R 5	増減 (R6-R5)
そう思う (①)	5.3%	5.4%	▲0.1pt
ややそう思う (②)	26.8%	26.5%	+0.3pt
小計 (①+②)	32.1%	31.9%	+0.2pt
どちらともいえない (③)	44.4%	43.6%	+0.8pt
あまりそう思わない (④)	16.8%	18.2%	▲1.4pt
そう思わない (⑤)	6.7%	6.3%	+0.4pt
小計 (④+⑤)	23.5%	24.5%	▲1.0pt

○ 生活実感評価の高い政策分野順位について

27分野のうち20の分野で変動が生じているものの、最も変動の大きい分野（「危機管理・防災・減災」）でも4ランクの変動に留まり、それほど変動幅は大きくない。

ア 3ランク以上上昇した分野

分野	順位		
	R 6	R 5	変動
建築物	1 1	1 4	+ 3
市民生活の安全	1 7	2 0	+ 3

イ 3ランク以上低下した分野

分野	順位		
	R 6	R 5	変動
危機管理・防災・減災	2 5	2 1	▲ 4

（参考）令和5年度調査における生活実感評価の高い政策分野順位の変動

令和5年度調査では、令和4年度調査から、27分野のうち22分野で順位の変動が生じている。

3ランク以上上昇したもの		3ランク以上低下したもの	
分野	変動	分野	変動
文化	+ 3	住宅	▲ 4
危機管理・防災・減災	+ 3	健康長寿	▲ 3
		歩くまち	▲ 3

3 政策の重要度

「重要」又は「やや重要」と回答された方の割合が高い政策について、順位に変動はあったものの、5位以内の顔ぶれは変わらなかった。

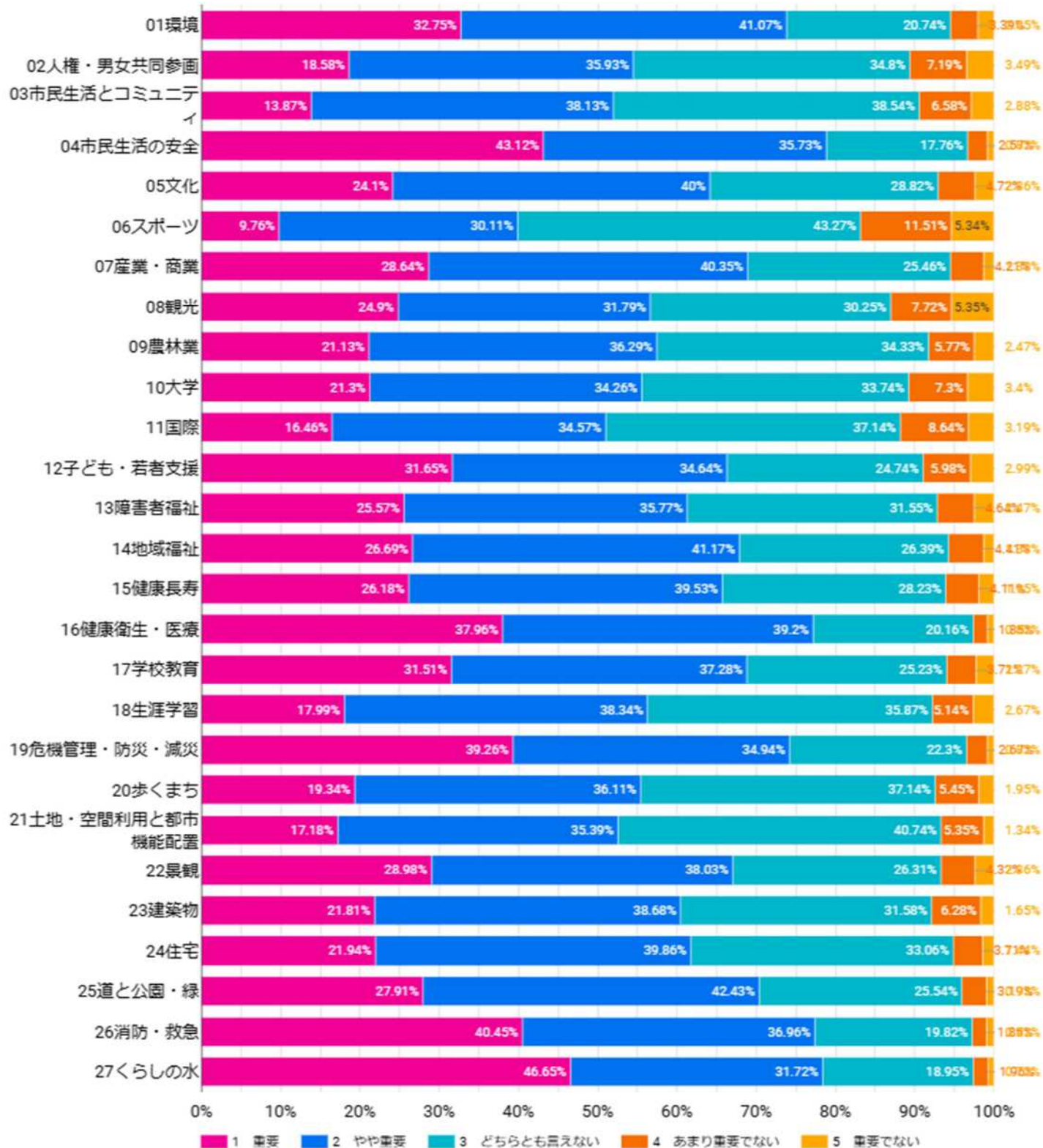
R 6		R 5	
順位	政策分野	順位	政策分野
1	市民生活の安全	1	くらしの水
2	くらしの水	2	市民生活の安全
3	消防・救急	3	保健衛生・医療
4	保健衛生・医療	4	消防・救急
5	危機管理・防災・減災	5	危機管理・防災・減災

(参考) 行政区別の回答状況 (BI ツールを活用した「見える化」した例)

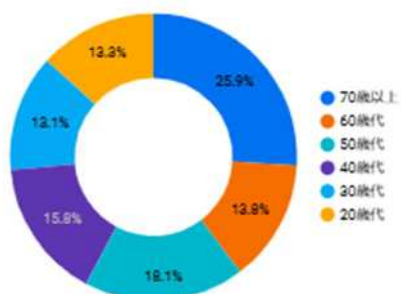
政策の重要度

年度: R6(1) ▼

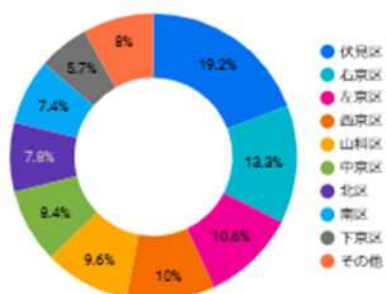
R6 市民生活実感調査の政策重要度



年代別集計



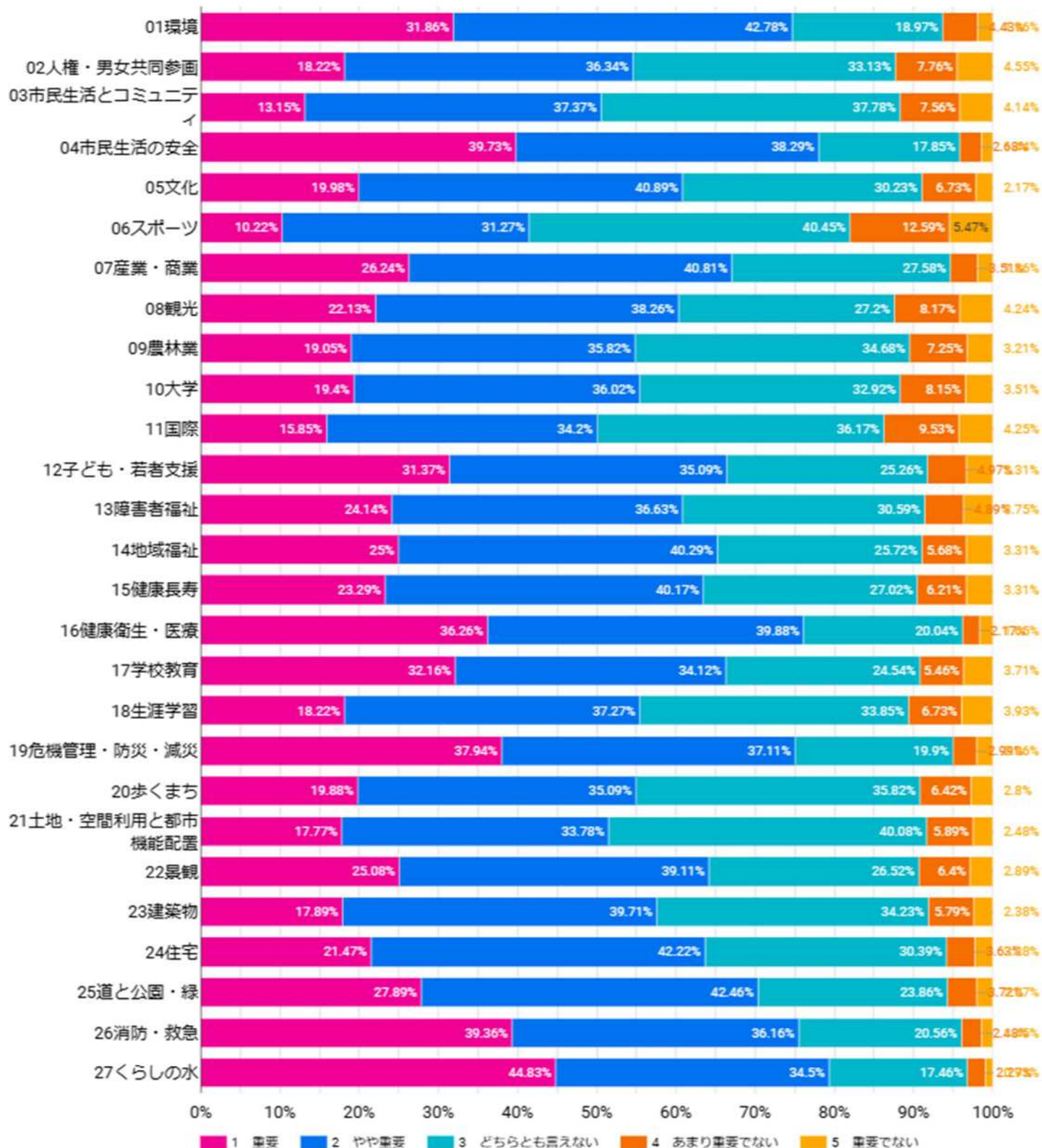
行政区別集計



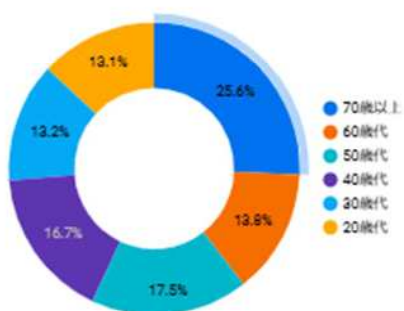
政策の重要度

年度: R5(1) ▼

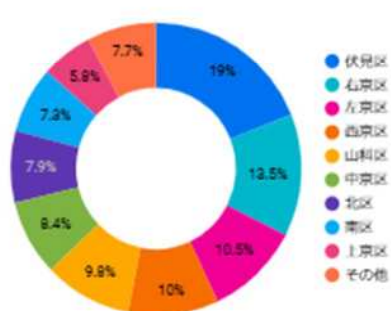
R 5 市民生活実感調査の政策重要度



年代別集計



行政区別集計



4 市政への関心度

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和5年度から1.1%増加している。

選択肢	R 6	R 5	増減 (R6－R5)	R 4
そう思う (①)	17.6%	17.2%	+0.4pt	17.3%
ややそう思う (②)	36.7%	36.0%	+0.7pt	38.5%
小計 (①+②)	54.3%	53.2%	+1.1pt	55.8%
どちらとも言えない (③)	21.9%	21.4%	+0.5pt	20.5%
あまりそう思わない (④)	15.7%	15.9%	▲0.2pt	16.5%
そう思わない (⑤)	8.1%	9.4%	▲1.3pt	7.1%
小計 (④+⑤)	23.8%	25.3%	▲1.5pt	23.6%
無回答	0%	0.1%	▲0.1pt	0%

(参考) 過年度の回答状況

選択肢	R3	R1	H30	H29	H28	H27
関心がある (①)	27.0%	32.9%	29.1%	31.1%	32.9%	35.0%
少しは関心がある (②)	34.1%	47.1%	47.6%	50.6%	48.5%	44.8%
小計 (①+②)	61.1%	80.0%	76.7%	81.7%	81.4%	79.8%
あまり関心がない (③)	23.1%	11.0%	13.1%	11.1%	11.5%	8.9%
まったく関心がない (④)	10.1%	1.2%	1.7%	1.1%	1.3%	0.9%
小計 (③+④)	4.1%	12.2%	14.8%	12.2%	12.8%	9.8%
わからない	14.2%	3.9%	4.0%	4.3%	3.2%	2.6%
無回答	1.6%	3.9%	4.5%	1.8%	2.6%	7.8%

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

5 幸福実感

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和5年度から2.1%増加している。

	R 6	R 5	増減 (R6-R5)	R 4
そう思う (①)	17.4%	16.1%	+1.3pt	18.0%
ややそう思う (②)	41.0%	39.2%	+1.8pt	39.0%
小計 (①+②)	58.4%	55.3%	+3.1pt	57.0%
どちらとも言えない	21.0%	25.6%	▲4.6pt	24.0%
あまりそう思わない (③)	11.5%	10.5%	+1.0pt	12.3%
そう思わない (④)	8.9%	8.5%	+0.4pt	6.5%
小計 (③+④)	20.4%	19.0%	+1.4pt	18.8%
無回答	0.2%	0.1%	+0.1pt	0.1%

(参考) 過年度の回答状況

	R3	R1	H30	H29	H28	H27
とても幸せだと思う (①)	28.8%	15.9%	16.9%	17.9%	16.2%	19.6%
どちらかという幸せだと思う (②)	39.1%	58.0%	57.7%	58.5%	60.9%	54.4%
小計 (①+②)	67.9%	73.9%	74.6%	76.4%	77.1%	74.0%
どちらとも言えない	18.0%	15.1%	16.6%	16.1%	16.4%	14.9%
どちらかという幸せではないと思う (③)	8.3%	5.4%	4.4%	5.1%	3.7%	4.8%
不幸せだと思う (④)	4.1%	1.2%	0.9%	0.7%	0.9%	1.2%
小計 (③+④)	12.4%	6.6%	5.3%	5.8%	4.6%	6.0%
無回答	1.7%	4.4%	3.5%	1.7%	1.9%	5.2%

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

6 自由記述

回答数は827件、回答率は84.7%となり、令和5年度より増加した。

	R 6	R 5	増減 (R6－R5)
回答数	827	656	+171
回答率	84.7%	67.6%	+17.1pt

(参考) 主な意見

自由記述意見	件数
観光に関する意見	173 件
市バス・地下鉄に関する意見	65 件
京都市財政に関する意見	54 件
子育てに関する意見	46 件
道路に関する意見	31 件
税に関する意見	20 件
寺社に関する意見	12 件